

佐伯の二世帯住宅



建物概要

| | | | |
|-------|---------|------|---------|
| 新築/改修 | 新築 | 建物用途 | 専用住宅 |
| 所在地 | 大分県佐伯市 | 敷地面積 | 349.27㎡ |
| 地域区分 | 7地域 | 建築面積 | 149.24㎡ |
| 竣工年月 | 2020年7月 | 延床面積 | 203.96㎡ |
| 設計者 | エス建築設計 | 構造 | 木造 |
| 施工者 | (有)佐藤建設 | 階数 | 地上2階 |

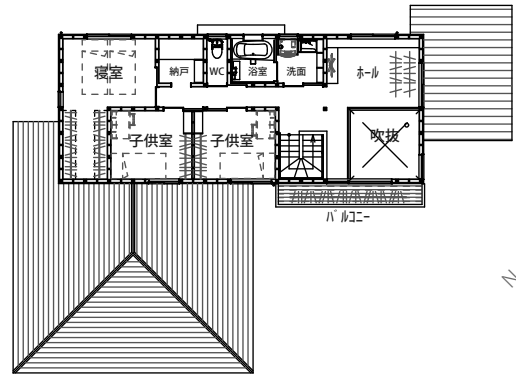
設計コンセプト

家族構成の変化に伴い、老朽化した自邸を建替え、二世帯住宅を計画。親世帯・子世帯の空間は、庭や共用エリアを挟むことで、普段は直接介することはないが気配がわかる適度な距離を保つ平面計画としている。

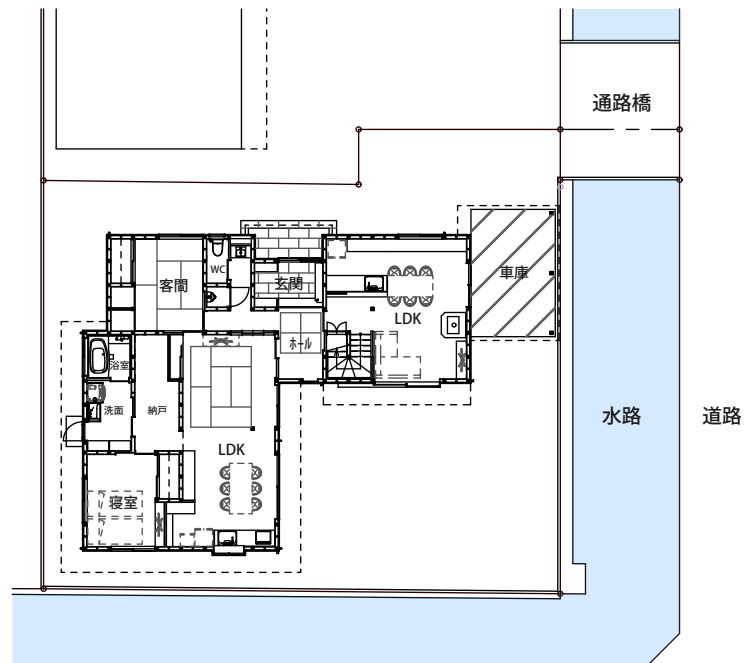
構造には金物仕口を用い、国産材の活用課題に取り組む地場の森林組合と協力し、「地域材パネル工法」として実施。循環型林業の持続を目指すとともに、地域における熟練大工不足という、現代の木造住宅の抱える課題にも取り組んでいる。

グリーン化の取り組み

- ・温暖地域で日射量が多いため、南面の開口部を大きくし、建物内に直接太陽熱を導入する「ダイレクトゲイン型」のパッシブ設計としている。
- ・軒の出を1,050mmとすることで、夏季の日射を避け、冬期の暖かな日射を取り入れている。
- ・風配図から、南北に風が吹くエリアであることを確認し、風が通り抜ける窓の配置を計画。
- ・周辺地域が林産エリアであることから、木材の製材所が多く、羽柄材が入手しやすいため、暖房には薪ストーブを選択。



2階平面図 S=1/300



1階平面図 S=1/300



地域パネル工法 上棟の様子



2階 ホール



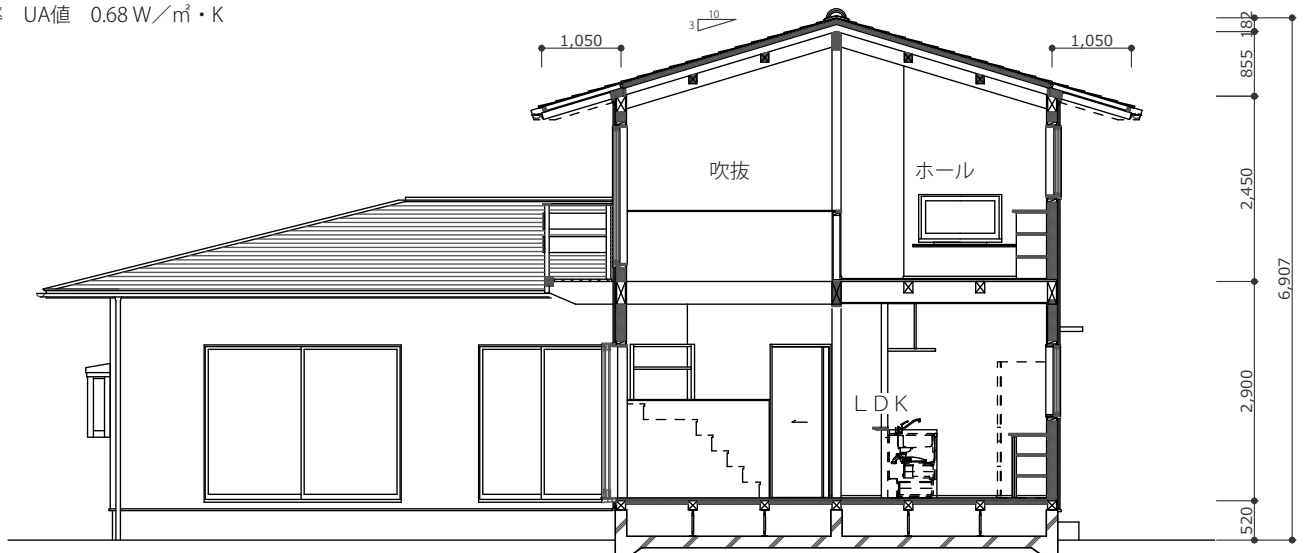
1階 子世帯LDK

外皮・設備仕様

| | | |
|-----|------|-----------------------|
| 断熱 | 屋根 | ネオマフォーム t45 |
| | 外壁 | マグイソベールスタンダード t90 |
| | 床 | ネオマジューピー t50 |
| 基礎 | ベタ基礎 | |
| 開口部 | 窓 | アルミ樹脂複合サッシ Low-E複層ガラス |
| | 玄関ドア | 木製建具 |

| | |
|----|-------------|
| 空調 | 高効率個別エアコン |
| | 第三種換気設備 |
| 照明 | LED電灯 |
| 給湯 | 電気ヒートポンプ給湯器 |

外皮平均熱貫流率 UA値 0.68 W/m²・K



矩計図 S=1/100